

3F	9月	10月	11月
総合展示室1 土佐藩の歴史	8月2日(金)～ 第3期	～10月14日(月・祝)	10月25日(金)～ 第4期 ～1月6日(月)
総合展示室2 大名道具と土佐の文化	7月12日(金)～ 第2期	～9月23日(月・祝)	10月4日(金)～ 第3期 ～11月25日(月)
特別展示室 企画展	武家の服飾 ～山内家伝来装束の世界～ 9月14日(土)～ ～9月1日(日)	土佐和紙のちから～文化財補修用紙の今～ ※展示替休室 10/28(月)・29(火)	～12月8日(日)

# 城博ニュース

## 城博講座

9月	10月	11月
<b>14日(土)</b> 古文書講座 「古文書解説 実践篇」 第3回 解説に挑戦② 講師/藤田雅子(当館歴史担当学芸員)  <b>28日(土)</b> 美術工芸講座 「見る技術～はじめての日本美術～」 第3回 工芸品のまよう 講師/丸塚花奈子(当館美術工芸担当学芸員)	<b>12日(土)</b> 歴史講座 「海と山のめぐみ～土佐の社会と産業～」 第2回 幕府に献上された土佐の色紙 講師/横山和弘(当館歴史担当学芸員)  <b>26日(土)</b> 日本の文化講座 「五節句」 第2回 土佐の五節句 講師/中村淳子氏(高知県立歴史民俗資料館 学芸専門員)	<b>9日(土)</b> 古文書講座 「古文書解説 実践篇」 第4回 解説に挑戦③ 講師/藤田雅子(当館歴史担当学芸員)  <b>23日(土)</b> 美術工芸講座 「見る技術～はじめての日本美術～」 第4回 刀 はじめての一步 講師/尾本師子(当館美術工芸担当学芸員)  <b>30日(土)</b> 保存修復講座 「文化財修理と“土佐和紙”」 第2回 紙漉き道具一簣・桁製作の今 講師/一宮佳世子氏(紙本保存修復家) ※定員60名(要事前申込)詳細は表紙をご覧ください。

会場/当館1階ホール 時間/10:00～11:30 定員/80名 参加費/無料 申込み/不要(当日先着順)

## 企画展 土佐和紙のちから ～文化財補修用紙の今～

土佐和紙を使って修理された 国宝・重要文化財ほかを展示  
文化財をささえる、ひと・原料・道具の現在

令和6年(2024) 9.14 → 12.8  
展示替休室 10.28 → 29 上記以外無休

季節の行事	子ども向け講座	地域文化講座(第2回)
<b>城博で楽しむ雅楽の調べ お月見の会</b> 開催日:10月14日(月・祝) 時間:[演奏会]18時～19時30分 [呈茶]16時～17時30分 演奏:繁藤雅陽会 会場:当館 参加費:500円(お呈茶もご希望の場合は800円) 定員:30名(要事前申込み) <b>申込方法</b> 当館受付、電話(088-871-1600)、FAX(088-871-1619)のいずれかでお名前・住所・電話番号をお知らせください。(申込受付中/申込多数の場合は抽選となります。) <small>秋や月にちなんだ美術工芸品がならぶ展示室もお楽しみいただけます!</small>	<b>みる・きく・さわる 「親子でたのしもう! 茶道体験」</b> 開催日:11月3日(日・祝) 時間:14時～15時30分 講師:西内宗由氏(裏千家正教授) 会場:当館 参加費:300円 定員:親子12組(24名)(要事前申込み)	<b>地域調査法「神社明細帳を読む」</b> 開催日:10月5日(土) 時間:13時30分～15時 講師:渡部淳(当館館長) 会場:薫の会館(高知市洞ヶ島町5-7 薫の神社境内) 参加費:無料 定員:40名(要事前申込み・先着順) <b>申込方法</b> 電話(088-871-1629[地域企画課])、FAX(088-871-1619)のいずれかでお名前・住所・電話番号をお知らせください。(8月20日(火)9時～受付開始)

### お得な年間観覧券がオススメです

城博の展示は、年間5回の企画展に加えて総合展示室2室も約2ヶ月毎に展示替え。年間観覧券があれば入館もスムーズ。ぜひご利用ください。

**年間観覧券 / 2,000円**  
※有効期限は購入日から1年間

各種会員制度もご利用ください

友の会 年間観覧券と様々な特典がついた会員制度です。  
年間 3,500円

情報会員 城博ニュースのほか、展示や行事・催し物などのお知らせをご自宅にお送りします。  
年間 500円

友の会、情報会員の詳細はこちら

開館時間 9:00～18:00 (日曜日は8:00～18:00) ※展示室への入室は閉館30分前まで

休館日 年末(12月26日～31日) ※展示室の開室スケジュールはホームページをご覧ください

観覧料 ◆500円(400円) ※( )は団体20名以上の料金  
◆企画展開催期間中・・・700円  
◆高知城とのセット券 ※有効期限は当日限りです(当館企画展開催期間中)900円 (その他の期間)740円  
◆高校生以下は無料  
※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳、被爆者健康手帳所持者と介護者(1名)は無料 ※高知県・高知市長寿手帳所持者は無料

交通アクセス ◆お車 高知自動車道高知ICから約15分、一般来館者用の駐車場はございません。高知公園(高知城)駐車場など周辺の有料駐車場をご利用ください。※障害者用駐車場(2台)あり  
◆JR JR高知駅からとさでん交通路面電車(はりまや橋方面行き5分)はりまや橋下車にて乗り換え、高知城前下車、徒歩2分  
◆飛行機 高知龍馬空港から空港連絡バスにてはりまや橋下車、徒歩約20分

高知県立 高知城歴史博物館  
(指定管理者: (公財)土佐山内記念財団)

〒780-0842 高知市追手筋2-7-5  
TEL.088-871-1600 FAX.088-871-1619

高知城博 検索

発行日/令和6年(2024)8月9日 編集・発行/高知県立高知城歴史博物館 印刷/共和印刷株式会社

### 関連行事

会場:1階ホール  
申し込み方法:先着順 要事前申込  
電話かFAXで氏名・電話番号をお知らせください。

- 1 記念講演会**  
文化財保存技術の保護と継承  
—補修用紙としての土佐和紙を中心に—  
日時:9月29日(日)14時～15時30分  
講師:地主智彦氏(文化庁文化財第一課主任文化財調査官)  
定員 60名
- 2 講座・実演**  
土佐和紙の伝統と技  
—文化財の補修用紙—  
日時:10月27日(日)14時～15時45分  
講師:有吉正明氏(高知県立紙産業技術センター素材開発課主任研究員) 江淵榮貴氏(選定保存技術保持者 表具用手漉和紙(補修紙)製作)  
定員 30名
- 3 講座**  
文化財修理の最前線  
—料紙と補修用紙 国宝「島津家文書」の修理事例に—  
日時:11月17日(日)14時～15時30分  
講師:高島晶彦氏(東京大学史料編纂所史料保存技術室 修復担当技術専門職員)  
定員 60名
- 4 講座** (今年度※城博講座「保存修復講座」第2回)  
紙漉き道具  
—簣・桁製作の今—  
日時:11月30日(土)10時～11時30分  
講師:一宮佳世子氏(紙本保存修復家)  
定員 60名

ジョーハクLINE公式アカウントはじめました ▶▶▶

企画展の開催情報や講座・催し物等の募集情報、その他オススメ情報などをお届けします。皆さまの友達登録をお待ちしています!

# 企画展 土佐和紙のちから

## ～文化財補修用紙の今～

修理によってよみがえった国宝・重要文化財を展示します。どの部分に土佐和紙が使われたか当ててみてください。



**二条城の天井画**  
(二の丸御殿白書院一の間)

重要文化財「花卉図(手巻)」  
京都市(元離宮二条城事務所)蔵  
展示期間:10/30-12/8



**秀吉の刀符令**

国宝「豊臣秀吉捉書」(『島津家文書』より)東京大学史料編纂所蔵  
展示期間:9/14-10/27

### 土佐和紙作りを支える 工具・道具・原料

国内有数の生産量を誇り、さまざまな用途の紙を次々に生み出してきた土佐和紙。その特徴は「良質な原料生産」(優れた用具製作)「高度な紙漉き技術」の三位一体にあります。この展示会では職人の超絶技巧の成果とともに、紙漉き用具、その用具を作るための道具、実際の原料を展示します。

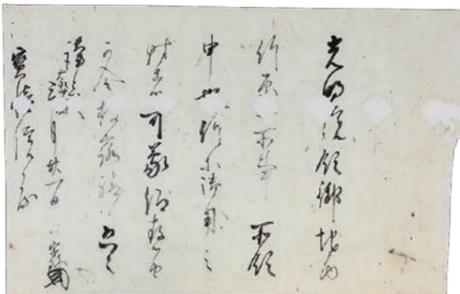


「土佐和紙」と聞いて、文具、壁紙、書道用紙などの多彩な製品やアート作品を思い浮かべる方も多いかもしれません。

この展示会で採り上げるのは「文化財の補修用紙」。土佐和紙を使って修理された国宝・重要文化財などを展示し、知られざるその一面を紹介します。



醍醐寺文書  
[上:修理前 下:修理後]

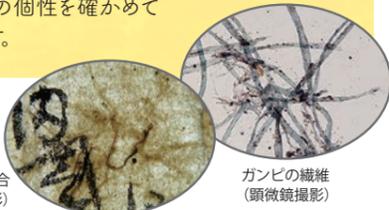


国宝「僧宗珍竹原預り状」(『醍醐寺文書聖教』より)醍醐寺蔵  
展示期間:10/30-12/8

### みて・さわって 個性豊かな紙

原料の種類、加工程度、漉き方、道具によって異なる紙。文化財の修理では紙の個性の見きわめがとて大切で。

この展示会では、それぞれの紙の個性や分析方法を紹介。また様々な補修用紙を実際にさわったり透かしたりしてその個性を確かめていただけます。



古文書の紙の地合  
(透過光撮影)

ガンプの繊維  
(顕微鏡撮影)

外装の屋根や壁には唐草と花桐紋を金蒔絵で表わし、前後には丸三柏紋の飾り金具。内装には金地に松竹梅・鶴亀の図を、格子天井には四季の花々を描く。

これは大名家夫人が用いた女性用の乗物です。随所に贅を凝らし丁寧に造り込まれた本品は、塗師、金具師、絵師、貼り師など、当時の職人の技を結集して造られたものです。平成二十七年、本品は乗用具としてまた美術工芸品としての価値を後世に残すため保存修理が行われました。修理は異なる技法や材質に対応するため、装演・金工・漆工の各分野専門の修理技術者が集い、共同作業によって行われ



## 黒漆塗金蒔絵女乗物

年代/江戸時代後期

また無双窓の紗の裏打ちには「土佐典具帖紙」が補強のため使われています。極薄で透過性が高く破れにくい、その特色は外光を取り込む際の役割を損なわない最適な材料として使われました。このように多種多様な紙を漉き分け、提供することができ、それが伝統で培われた土佐和紙の強みであり、今や世界中の文化財修理で高い評価を得ているゆえんといえます。

秋の企画展では本品が登場します。細部の造りに目を凝らし、修理によって先人の卓越した技と現在の職人の技が融合した姿にぜひ注目してください。

資料学芸課 資料保存修理室長 田井東浩平

## 城博コレクションの名品逸品

古文書をはじめとした歴史資料や歴代藩主の御道具など6万7千点の土佐藩山内家資料を核とした土佐藩・高知県ゆかりの収蔵資料の中から学芸員がオススメの名品や隠れた逸品をご紹介します。

過去と現在 職人の技が融合した女乗物

ました。修理材料にはさまざまな伝統的材料が使われ、高知が誇る「土佐和紙」もその一つです。例えば、内装の絵画にみられた欠損部の補修紙は、本紙料紙と同じ繊維、質感で漉かれた「雁皮紙」が使用されています。再現性が高く、絵画の描写を邪魔しないその風合いに紙漉き職人の高い抄紙技術をみることが出来ます。

### 活動レポート

#### 企画展「武家の服飾」記念講演会 開催

現在開催中の企画展「武家の服飾～山内家伝来装束の世界～」では、展示をより楽しんでいただくために様々な関連行事を実施しています。7月13日には、長崎巖先生(共立女子大学名誉教授・丸紅ギャラリー副館長)を講師にお招きし、「戦国武将のファッション 陣羽織に求められた機能と美」と題してご講演いただきました。当日はあいにくの天気でしたが、多くの方にご参加いただきました。



ご講演では、戦国の世の中で陣羽織がいかにして生まれていかに発展し、戦のない世となった江戸時代にはどのように変化していったのか、長年の研究から得た知見をもとに、陣羽織の着用目的、形状や素材・デザインなど、多彩な視点からご紹介いただきました。

とりわけ、陣羽織の背割りや脇のマチ、スカートのような「ひだ」の役割について、騎乗時の動作を妨げないようにする工夫であるという説明がされると、大きく頷いたり、熱心にメモを取られる方が大勢いらっしゃいました。

講演後にはたくさんの方に感想をいただき、戦国武将のファッションに対する興味や関心の高さを改めて感じる一時となりました。

本展を通して、武家服飾の奥深さと山内家伝来の服飾資料の魅力さをさらに多くの方に知っていただく機会となれば嬉しいです。

資料学芸課 学芸員 丸塚花奈子

#### 講演会

#### 「地域文化講座」と「外国人のための土佐歴史文化講座」の開催

地域企画課では、本年度からいくつかの新しい企画を展開していますが、その中から2つをご紹介します。

一つは、地域の文化活動の立案や実践に役立つ情報やスキルを紹介する「地域文化講座」です。第1回「村とは何か」(7月6日):集落の原形となった江戸時代の村のあり方と近代での変容を学ぶ。第2回「神社の調べ方」(10月5日):村人結束の拠り所である村の神社の調べ方を現地で解説。第3回「過疎をめぐる諸問題」(12月7日):高知県の過疎の現状とその要因、今後の課題について考える。第4回「地域に於ける実践」(3月):様々な地域活動の実践者による活動紹介。今年度は、以上4回を予定しています。

もう一つは、高知県で生活を始めた県外出身者を対象とした「土佐歴史文化講座」です。6月に開催した第1回では、外国人を対象に、高知の地理・歴史・文化の解説と、武士の礼法とお茶の作法を体験しました。秋以降、転勤者や移住者を対象に、土佐弁や土佐酒といったややマニアックな世界を紹介することになっています。

強烈な個性を有する土佐という土地。地理や歴史、言葉や風習を知ることで、少しでも早く馴染んでいただけたらと思います。

館長兼地域企画課長 渡部淳



#### 講座



令和6年(2024)9月14日(土) 12月8日(日)  
Xアカウント [https://twitter.com/kochi\\_johaku](https://twitter.com/kochi_johaku)  
土佐和紙のちから～文化財補修用紙の今～@高知城博

展示替休室10月28・29日 左記以外無休

展示を見たら絶対ほしくなる?! 会場限定「補修紙ガチャ」

#### 総合展示室 展示情報

歴史と美術、2室の総合展示で山内家資料の魅力を満喫

令和6年度 総合展示室 第3期 8月2日(金)～10月14日(月・祝)

#### ピックアップ 高知城下郭中図

江戸時代前期の高知城下町を描いた絵図。大きな絵図のどこに注目したらいいの?といった素朴な疑問を「やまびん」(当館キャラクター)が音声ガイドで分かりやすく解説します。夏休みは他の展示資料も「やまびん」の音声ガイドを用意していますので、お楽しみください。



令和6年度 総合展示室 第2期 7月12日(金)～9月23日(月・祝)

第3期 10月4日(金)～11月25日(月)

#### ピックアップ 能面のあれこれ

男性の面の細かな作り分け、能面の収納など、山内家伝来面のディープな世界にご招待します。

